

表4 介護者選択の条件付きlogitモデルの推定結果

	サンプル1		サンプル2		サンプル3		サンプル4	
	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差
female	4.33	3.83	7.18	4.34	10.00	1.94	11.64	5.65
onirrel2	13.04	37.07	0.52	0.93	4.37	2.19	6.87	13.78
onirrel3	2.13	1.86	2.33	1.42	1.49	0.30	1.28	0.62
lnidify	0.92	0.12	0.87	0.09	0.88	0.03	0.93	0.16
age	1.55	0.41	1.23	0.15	1.48	0.07	1.77	0.31
sq_age	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
h2	1.36	1.66	4.24	3.57	1.19	0.29	0.81	0.56
onsymp	0.48	0.48	0.57	0.43	0.53	0.12	0.31	0.21
ond	0.53	0.58	0.80	0.53	1.29	0.27	0.86	0.46
lm_3	56.17	155.38	1.83	1.83	1.31	0.42	5.31	5.79
標本数	94		219		2096		300	
擬似R ²	0.46		0.49		0.59		0.60	

	サンプル1		サンプル2		サンプル3		サンプル4	
	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差
female	5.61	4.38	9.08	5.42	10.72	1.99	10.74	4.90
onirrel2	1.20	2.30	0.32	0.54	4.11	2.03	5.34	9.74
onirrel3	1.68	1.24	1.92	1.09	1.45	0.28	1.43	0.67
oniminyx	1.19	0.88	1.54	0.85	1.83	0.36	1.18	1.33
age	1.32	0.26	1.23	0.16	1.45	0.06	1.51	0.20
sq_age	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
標本数	94		219		2096		300	
擬似R ²	0.37		0.46		0.58		0.57	

表 7 女性の結婚確率関数の推定結果(5)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8306635	-2.486	0.013
自営業ダミー	1.274784	2.536	0.011
稼働所得	.9401365	-4.449	0.000
非稼働所得	1.309292	10.187	0.000
予定子ども数	1.513902	12.365	0.000
出産時の一時金	.9763094	-0.452	0.651

表 8 女性の結婚確率関数の推定結果(6)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8254488	-2.566	0.010
自営業ダミー	1.277907	2.564	0.010
稼働所得	.9416962	-4.319	0.000
非稼働所得	1.312625	10.287	0.000
予定子ども数	1.523306	12.548	0.000
出産・育児の相談・指導の充実	.8523661	-3.005	0.003

表 9 女性の結婚確率関数の推定結果(7)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8289175	-2.514	0.012
自営業ダミー	1.272923	2.522	0.012
稼働所得	.9413704	-4.331	0.000
非稼働所得	1.31154	10.230	0.000
予定子ども数	1.515056	12.412	0.000
保育所の充実	.9391754	-1.079	0.281

表 10 女性の結婚確率関数の推定結果(8)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8325789	-2.453	0.014
自営業ダミー	1.281381	2.592	0.010
稼働所得	.9386105	-4.542	0.000
非稼働所得	1.309346	10.161	0.000
予定子ども数	1.50949	12.234	0.000
保育料の軽減	1.047256	0.850	0.395

厚生科学研究費補助金（政策研究推進研究事業）
分担報告書
家族形成の構造変化と社会保障の家計行動の影響に関する研究
育児支援策の結婚・出産行動に与える影響に関する研究

分担研究者 滋野由紀子 大阪市立大学経済学部

研究要約 本稿では、様々な出産・育児支援施策の結婚および出産の意思決定に与える影響を分析した。その結果、男女共に結婚を促進させるためには、育児休業中の賃金保障や育児休業期間の延長、出産後の待遇保障というような職場における施策であることがわかった。また、結婚後の出産促進のためには、育児休業期間中の賃金に対する保障、育児休業期間の延長、出産一時金、保育料の減額の何れの施策を行っても、女性の1人当たり出生児数が2人を越えることが明らかとなった。

A. 研究目的

急速に少子・高齢化が進む中で、様々な出産・育児支援施策が導入、あるいは思案されている。本稿では、出産・育児支援施策の1つずつについて、それが結婚の意思決定に与える影響と、結婚後の出産の意思決定に与える影響を分析し、結婚・出産の促進にはどのような施策が有効であるかを検討することを目的としている。

B. 研究方法

1. データ

本分析では、国民生活基礎調査の特別調査である「結婚と出生・育児に関する基礎調査」（1997年）の個票データを用いる。この調査は、全国の18歳以上40歳未満の個人を対象に行われている。調査事項に現在の子ども数、予定子ども数、理想子ども数、理想子ども数を持つのに必要な出産・育児支援策が入れられているのが特徴である。

具体的には、以下のような20項目の出産・育児支援策があげられていて、20項目

それぞれについて、「その施策があれば理想の子ども数を持つとしますか（持つとしたと思いますか）」、という設問があり、「持つとする」、「検討する」、「関係ない」、「わからない」で回答するように設定されている。

- ①育児休業期間中の賃金の保障の充実
- ②育児休業期間の延長
- ③育児休業や子どもの病気等での休暇が取りやすいなど子育てに理解のある職場環境の整備
- ④出産後（育児休業取得後）の待遇保障（給与・ポスト）
- ⑤出産時の一時金や出産祝い金等の支給
- ⑥出産や育児に関する相談・指導の充実
- ⑦保育所の充実（必要な人が必要な時に便利な場所で保育が受けられる環境の整備）
- ⑧保育料の軽減
- ⑨児童手当支給年齢の引き上げ
- ⑩児童手当支給額の増額
- ⑪税負担の軽減
- ⑫教育費用の軽減
- ⑬受験戦争の解消などゆとりのある教育の実現

- ⑭住宅費用の支援
- ⑮子育て環境の整備
- ⑯放課後児童クラブ（学童保育）や一時的に子どもを預かってくれる公的施設の整備
- ⑰出産退職等の雇用慣行の見直し
- ⑱男女共に就業時間を短縮し、男女が共同して家庭生活を営める環境づくり
- ⑲子育てを社会的・経済的に評価する社会の実現
- ⑳非嫡出子（法律上の結婚をしていない男女から生まれた子）に対する取扱いの見直し

さらに、①、②、⑤、⑧においては、「持とうとする」、「検討する」と答えた人に対して、「賃金の何%か」、「出産後何か月まで延長されればよいか」、「一時金の金額」、「許容される保育料の月々の負担額」が訊ねられている。本分析ではこれらの情報に着目する。

2. 分析手法

まず、育児支援策が結婚の意思決定に与える影響を分析する。通常の生存時間を結婚までの年数¹とし、死亡という事象を結婚に置き換えて、survival analysis²によって結婚確率関数の推定を行う。説明変数には出産育児支援策の必要さを示すダミー変数（その出産・育児支援策を必要としている場合を1、それ以外を0とする）と就業状態に関する変数（就業ダミー、自営業ダミー）、所得に関する変数（自らの稼働所得とその他の所得³）、さらに予定子ども数を用いる。育児支援策が結婚の意思決定に与える影響は、男女で異なることが予想される

¹ 未婚者については、調査時点の年齢を生存時間として用いる。

² Greene(1997)参照。

³ これには他の世帯員の所得も全て含まれる。

ため、推定は女性のみのサンプル、男性のみのサンプルに分けて行う。

次に、育児支援策を施行すれば、出生児数はどれくらい増加するのかについて検討する。分析には「理想子ども数」を用いるので、その回答がより現実的であると考えられる既婚女性にサンプルを限定する。

ある出産・育児支援策が施行されたならば理想子ども数を持つという場合、理想子ども数と現実の子ども数の差が、その施策による出産促進効果とみなすことができる。ここで言う、現実の子ども数は完結出生児数でなければならない。そこで、完結出生児数を推定する。

現在の子ども数を被説明変数とし、予定子ども数、結婚後年数、結婚後年数の自乗項、年齢、年齢の自乗項で説明する。子ども数は0,1,2,3と離散的であり、大小はつけられるが0と1の間隔と1と2の間隔が同じであるとは必ずしも言えないため、ordered probitモデル⁴を用いる。その推定結果に、年齢40歳と40歳時点の結婚後年数を代入して求めた推定値を完結出生児数とする。

出産・育児支援策が採用された場合に理想の子ども数を持つとすると、あるいは検討すると答えた人について、推定した完結出生児数と理想とする子ども数の差を、その施策による増加（減少）出生児数とする。ここでは、育児休業中の賃金保障、育児休業期間の延長、出産時の一時金、保育料の減額の効果をみる。それぞれの施策が施行されたときの増加出生児数を求める。

C. 研究結果

表1、表2は結婚確率関数の推定に用いたデータの記述統計量である。表3～表22

⁴ Greene(1997)参照。

は、サンプルを女性に限定した結婚確率関数の推定結果であり、表 23～42 はサンプルを男性に限定した結果である。様々な育児支援施策の間の多重共線関係を考慮して、1 つずつ説明変数に加えた。

表 43 は完結出生児数を推定するための出生児関数の推定に用いたデータの記述統計量である。表 44 が出生児関数の推定結果である。

図 1～図 8 は、育児休業中の賃金保障が増額、育児休業期間が延長、出産時の一時金が増額、保育料が減額されるにつれての出生児数の推移をグラフにあらわしたものである。

D. 考察

結婚確率関数の推定結果（表 3～表 22）から女性の結婚の意思決定に対して正の効果がある出産・育児施策は、「育児休業中の賃金保障」、「育児期間の延長」、「出産後の待遇保障」、「出産・育児の相談・指導の充実」、「出産退職などの雇用慣行の見直し」、「非嫡出子に対する扱いの見直し」であることがうかがわれる⁵。

一方、男性の意思決定に対しては、「育児休業中の所得保障」、「育児休業期間の延長」、「出産後の待遇保障」、「出産・育児の相談・指導の充実」、「非嫡出子に対する扱いの見直し」が促進的であることが示唆される（表 23～表 42 参照）。

図 1、図 2 からは、育児休業中の賃金保障を従前の 80% にすれば、女性 1 人当たり

の出生児数は約 0.43 人増加し、約 2.04 人になることがわかる。図 3、図 4 からは、育児休業期間を 2 年(24 カ月)にすれば女性 1 人当たりの出生児数は約 0.37 人増加し、約 1.98 人になることがわかる。図 5、図 6 からは、出産一時金を 100 万円出せば、女性 1 人当たりの出生児数は約 0.48 人増加し、約 2.10 人になることがわかる。最後に図 7、図 8 からは、保育料が 1 カ月当たり 2 万円であれば、女性 1 人当たりの出生児数は約 0.71 人増加し、約 2.32 人になることがわかる。

E. 結論

男女共に結婚を促進させるのは、育児休業中の賃金保障や育児休業期間の延長、出産後の待遇保障というような職場における施策である。

他方、結婚後の出産促進のためには、育児期間中の賃金に対する保障、育児休業期間の延長、出産一時金、保育料の減額の何れの施策を行っても、女性の 1 人当たり出生児数が 2 人を越えることが明らかとなった。ただし、そのための費用をここでは全く考慮しておらず、その点については今後の課題としたい。

F. 研究発表

1. 論文発表
投稿準備中

2. 研究発表
日本経済学会等での発表を検討中

G. 知的所有権の取得状況

なし

参考文献

Greene, W.H. [1997], Econometric

⁵ ある出産・育児施策があれば理想の子どもを持つ（検討する）ということは、理想の子どもを持つためにはその出産・育児施策を必要としていることである。その出産・育児施策を必要とする人の結婚確率が低いということは、その施策があれば逆に結婚確率が高まるとここでは解釈している。

Analysis, 3rd. ed., London:
Prentice-Hall International.

表 1 記述統計量 (女性)

変数名	平均値	標準偏差	最小値	最大値
結婚ダミー	.6425721	.4793486	0	1
結婚年齢	25.17509	4.080974	16	40.08333
就業ダミー	.5636364	.4960439	0	1
自営業ダミー	.0713969	.2575438	0	1
当該女性の稼働所得 (対数値)	2.671899	2.652329	0	7.102499
非稼働所得 (対数値)	5.948642	1.664191	0	9.214432
予定子ども数	2.059424	.8324703	0	5
育児休業中の賃金保障	.4465632	.4972466	0	1
育児休業期間の延長	.3929047	.4885043	0	1
子育てに理解のある職場環境	.6554324	.4753325	0	1
出産後の待遇保障	.5512195	.49748	0	1
出産時の一時金	.4363636	.4960439	0	1
出産・育児の相談・指導の充実	.4359202	.4959868	0	1
保育所の充実	.6771619	.4676651	0	1
保育料の軽減	.5436807	.4981988	0	1
児童手当支給年齢の引き上げ	.5667406	.4956356	0	1
児童手当支給額の増額	.5822616	.493296	0	1
税負担の軽減	.6731707	.4691583	0	1
教育費用の軽減	.7152993	.4513718	0	1
ゆとりのある教育の実現	.6603104	.4737089	0	1
住宅費用の支援	.6292683	.4831079	0	1
子育て環境の整備	.6820399	.4657872	0	1
放課後児童クラブ(学童保育)の整備	.6243902	.4843874	0	1
出産退職等の雇用慣行の見直し	.5507761	.4975254	0	1
就業時間の短縮 (男女共)	.6168514	.4862619	0	1
子育てを社会的・経済的に評価	.6008869	.4898247	0	1
非嫡出子に対する扱いの見直し	.3175166	.4656135	0	1

サンプル数は 2255。

表 2 記述統計量 (男性)

変数名	平均値	標準偏差	最小値	最大値
結婚ダミー	.5814081	.4934639	0	1
結婚年齢	26.36679	4.296787	18	39.75
就業ダミー	.8855886	.3183979	0	1
自営業ダミー	.1534653	.3605346	0	1
当該女性の稼働所得 (対数値)	5.038627	2.162648	0	7.338888
非稼働所得 (対数値)	4.011853	2.866078	0	9.124128
予定子ども数	2.092409	.8148576	0	5
育児休業中の賃金保障	.3784378	.485131	0	1
育児休業期間の延長	.3118812	.4633891	0	1
子育てに理解のある職場環境	.5346535	.4989349	0	1
出産後の待遇保障	.4460946	.4972225	0	1
出産時の一時金	.4180418	.4933728	0	1
出産・育児の相談・指導の充実	.3575358	.4794063	0	1
保育所の充実	.5566557	.4969165	0	1
保育料の軽減	.4774477	.4996286	0	1
児童手当支給年齢の引き上げ	.5434543	.4982452	0	1
児童手当支給額の増額	.5583058	.4967254	0	1
税負担の軽減	.6441144	.4789125	0	1
教育費用の軽減	.6419142	.4795695	0	1
ゆとりのある教育の実現	.559956	.4965288	0	1
住宅費用の支援	.5731573	.4947551	0	1
子育て環境の整備	.5764576	.4942556	0	1
放課後児童クラブ(学童保育)の整備	.5110011	.5000165	0	1
出産退職等の雇用慣行の見直し	.4449945	.4971019	0	1
就業時間の短縮 (男女共)	.5319032	.4991184	0	1
子育てを社会的・経済的に評価	.520352	.4997231	0	1
非嫡出子に対する扱いの見直し	.2816282	.4499168	0	1

サンプル数は、1818。

表 3 女性の結婚確率関数の推定結果(1)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8424387	-2.294	0.022
自営業ダミー	1.242525	2.261	0.024
稼働所得	.9449224	-4.045	0.000
非稼働所得	1.313039	10.284	0.000
予定子ども数	1.518998	12.505	0.000
育児休業中の賃金保障	.8487524	-2.991	0.003

表 4 女性の結婚確率関数の推定結果(2)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8347268	-2.414	0.016
自営業ダミー	1.259636	2.411	0.016
稼働所得	.9430813	-4.190	0.000
非稼働所得	1.312359	10.249	0.000
予定子ども数	1.521038	12.523	0.000
育児休業期間の延長	.8659273	-2.624	0.009

表 5 女性の結婚確率関数の推定結果(3)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8329175	-2.448	0.014
自営業ダミー	1.255037	2.357	0.018
稼働所得	.9420835	-4.272	0.000
非稼働所得	1.313591	10.257	0.000
予定子ども数	1.516933	12.443	0.000
子育てに理解のある職場環境	.9175021	-1.509	0.131

表 6 女性の結婚確率関数の推定結果(4)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.835899	-2.401	0.016
自営業ダミー	1.248366	2.311	0.021
稼働所得	.9429034	-4.216	0.000
非稼働所得	1.316231	10.323	0.000
予定子ども数	1.51686	12.490	0.000
出産後の待遇保障	.8659635	-2.687	0.007

表 7 女性の結婚確率関数の推定結果(5)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8306635	-2.486	0.013
自営業ダミー	1.274784	2.536	0.011
稼働所得	.9401365	-4.449	0.000
非稼働所得	1.309292	10.187	0.000
予定子ども数	1.513902	12.365	0.000
出産時の一時金	.9763094	-0.452	0.651

表 8 女性の結婚確率関数の推定結果(6)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8254488	-2.566	0.010
自営業ダミー	1.277907	2.564	0.010
稼働所得	.9416962	-4.319	0.000
非稼働所得	1.312625	10.287	0.000
予定子ども数	1.523306	12.548	0.000
出産・育児の相談・指導の充実	.8523661	-3.005	0.003

表 9 女性の結婚確率関数の推定結果(7)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8289175	-2.514	0.012
自営業ダミー	1.272923	2.522	0.012
稼働所得	.9413704	-4.331	0.000
非稼働所得	1.31154	10.230	0.000
予定子ども数	1.515056	12.412	0.000
保育所の充実	.9391754	-1.079	0.281

表 10 女性の結婚確率関数の推定結果(8)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8325789	-2.453	0.014
自営業ダミー	1.281381	2.592	0.010
稼働所得	.9386105	-4.542	0.000
非稼働所得	1.309346	10.161	0.000
予定子ども数	1.50949	12.234	0.000
保育料の軽減	1.047256	0.850	0.395

表 11 女性の結婚確率関数の推定結果(9)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8305405	-2.489	0.013
自営業ダミー	1.281267	2.590	0.010
稼働所得	.939481	-4.499	0.000
非稼働所得	1.309772	10.171	0.000
予定子ども数	1.510134	12.260	0.000
児童手当支給年齢の引き上げ	1.034609	0.630	0.529

表 12 女性の結婚確率関数の推定結果(10)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8309636	-2.481	0.013
自営業ダミー	1.281824	2.592	0.010
稼働所得	.939419	-4.499	0.000
非稼働所得	1.309599	10.175	0.000
予定子ども数	1.511018	12.293	0.000
児童手当支給額の増額	1.030292	0.549	0.583

表 13 女性の結婚確率関数の推定結果(11)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8316132	-2.470	0.014
自営業ダミー	1.282014	2.596	0.009
稼働所得	.9389397	-4.528	0.000
非稼働所得	1.308817	10.150	0.000
予定子ども数	1.510376	12.268	0.000
税負担の軽減	1.048595	0.804	0.422

表 14 女性の結婚確率関数の推定結果(12)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8292218	-2.508	0.012
自営業ダミー	1.275573	2.543	0.011
稼働所得	.9402441	-4.434	0.000
非稼働所得	1.310551	10.182	0.000
予定子ども数	1.51359	12.363	0.000
教育費用の軽減	.9778626	-0.361	0.718

表 15 女性の結婚確率関数の推定結果(13)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8307492	-2.484	0.013
自営業ダミー	1.278771	2.571	0.010
稼働所得	.9396127	-4.485	0.000
非稼働所得	1.308667	10.136	0.000
予定子ども数	1.511727	12.315	0.000
ゆとりのある教育の実現	1.020957	0.360	0.719

表 16 女性の結婚確率関数の推定結果(14)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8315857	-2.470	0.014
自営業ダミー	1.282699	2.601	0.009
稼働所得	.9391911	-4.516	0.000
非稼働所得	1.309421	10.165	0.000
予定子ども数	1.512075	12.323	0.000
住宅費用の支援	1.0459	0.804	0.421

表 17 女性の結婚確率関数の推定結果(15)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8269749	-2.543	0.011
自営業ダミー	1.275109	2.541	0.011
稼働所得	.9407203	-4.399	0.000
非稼働所得	1.311482	10.221	0.000
予定子ども数	1.515923	12.400	0.000
子育て環境の整備	.9486108	-0.896	0.370

表 18 女性の結婚確率関数の推定結果(16)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8316921	-2.469	0.014
自営業ダミー	1.27735	2.561	0.010
稼働所得	.9386162	-4.556	0.000
非稼働所得	1.308481	10.146	0.000
予定子ども数	1.510366	12.269	0.000
放課後児童クラブ (学童保育) の整備	1.071586	1.233	0.217

表 19 女性の結婚確率関数の推定結果(17)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8321751	-2.462	0.014
自営業ダミー	1.263003	2.438	0.015
稼働所得	.9426193	-4.237	0.000
非稼働所得	1.312194	10.253	0.000
予定子ども数	1.517225	12.457	0.000
出産退職等の雇用慣行の見直し	.8964323	-2.040	0.041

表 20 女性の結婚確率関数の推定結果(18)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8300832	-2.497	0.013
自営業ダミー	1.274204	2.528	0.011
稼働所得	.9403834	-4.415	0.000
非稼働所得	1.31031	10.192	0.000
予定子ども数	1.513186	12.367	0.000
就業時間の短縮 (男女共)	.9786114	-0.392	0.695

表 21 女性の結婚確率関数の推定結果(19)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8293128	-2.507	0.012
自営業ダミー	1.275606	2.544	0.011
稼働所得	.940234	-4.436	0.000
非稼働所得	1.310418	10.184	0.000
予定子ども数	1.512949	12.366	0.000
子育てを社会的・経済的に評価する社会	.9792514	-0.384	0.701

表 22 女性の結婚確率関数の推定結果(20)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	.8393879	-2.342	0.019
自営業ダミー	1.271501	2.513	0.012
稼働所得	.941147	-4.371	0.000
非稼働所得	1.308778	10.163	0.000
予定子ども数	1.51931	12.487	0.000
非嫡出子に対する扱いの見直し	.8574703	-2.618	0.009

表 23 男性の結婚確率関数の推定結果(1)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.964546	3.305	0.001
自営業ダミー	1.066675	0.794	0.427
稼働所得	1.130207	3.976	0.000
非稼働所得	.9598682	-3.706	0.000
予定子ども数	1.355256	8.334	0.000
育児休業中の賃金保障	.8905502	-1.779	0.075

表 24 男性の結婚確率関数の推定結果(2)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.914984	3.253	0.001
自営業ダミー	1.070315	0.839	0.402
稼働所得	1.131437	4.002	0.000
非稼働所得	.958751	-3.835	0.000
予定子ども数	1.358917	8.386	0.000
育児休業期間の延長	.8866103	-1.780	0.075

表 25 男性の結婚確率関数の推定結果(3)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.922535	3.259	0.001
自営業ダミー	1.091664	1.081	0.280
稼働所得	1.129167	3.925	0.000
非稼働所得	.9576208	-3.945	0.000
予定子ども数	1.353854	8.300	0.000
子育てに理解のある職場環境	.979962	-0.320	0.749

表 26 男性の結婚確率関数の推定結果(4)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.944229	3.284	0.001
自営業ダミー	1.070735	0.843	0.399
稼働所得	1.131345	4.008	0.000
非稼働所得	.9591072	-3.793	0.000
予定子ども数	1.359218	8.400	0.000
出産後の待遇保障	.8980989	-1.693	0.090

表 27 男性の結婚確率関数の推定結果(5)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.914378	3.250	0.001
自営業ダミー	1.098666	1.173	0.241
稼働所得	1.128135	3.897	0.000
非稼働所得	.9571979	-3.988	0.000
予定子ども数	1.352107	8.280	0.000
出産時の一時金	1.016167	0.258	0.796

表 28 男性の結婚確率関数の推定結果(6)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.951586	3.290	0.001
自営業ダミー	1.075576	0.906	0.365
稼働所得	1.129666	3.968	0.000
非稼働所得	.9577386	-3.939	0.000
予定子ども数	1.360391	8.430	0.000
出産・育児の相談・指導の充実	.8738866	-2.063	0.039

表 29 男性の結婚確率関数の推定結果(7)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.952123	3.290	0.001
自営業ダミー	1.084546	1.009	0.313
稼働所得	1.130693	3.981	0.000
非稼働所得	.9579833	-3.915	0.000
予定子ども数	1.35611	8.362	0.000
保育所の充実	.9286273	-1.175	0.240

表 30 男性の結婚確率関数の推定結果(8)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.908567	3.242	0.001
自営業ダミー	1.098778	1.175	0.240
稼働所得	1.127734	3.881	0.000
非稼働所得	.9572579	-3.988	0.000
予定子ども数	1.351529	8.249	0.000
保育料の軽減	1.017939	0.285	0.776

表 31 男性の結婚確率関数の推定結果(9)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.927592	3.261	0.001
自営業ダミー	1.094911	1.130	0.258
稼働所得	1.128524	3.916	0.000
非稼働所得	.9573151	-3.984	0.000
予定子ども数	1.35367	8.285	0.000
児童手当支給年齢の引き上げ	.9859764	-0.224	0.823

表 32 男性の結婚確率関数の推定結果(10)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.937314	3.271	0.001
自営業ダミー	1.093784	1.118	0.264
稼働所得	1.128762	3.923	0.000
非稼働所得	.9573729	-3.980	0.000
予定子ども数	1.354064	8.307	0.000
児童手当支給額の増額	.9762694	-0.381	0.703

表 33 男性の結婚確率関数の推定結果(11)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.871445	3.199	0.001
自営業ダミー	1.103914	1.234	0.217
稼働所得	1.125137	3.798	0.000
非稼働所得	.9568951	-4.021	0.000
予定子ども数	1.350423	8.233	0.000
税負担の軽減	1.070504	1.012	0.312

表 34 男性の結婚確率関数の推定結果(12)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.913037	3.246	0.001
自営業ダミー	1.097497	1.160	0.246
稼働所得	1.128058	3.886	0.000
非稼働所得	.9573163	-3.981	0.000
予定子ども数	1.352239	8.270	0.000
教育費用の軽減	1.007498	0.112	0.911

表 35 男性の結婚確率関数の推定結果(13)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.913137	3.247	0.001
自営業ダミー	1.097846	1.164	0.244
稼働所得	1.128096	3.893	0.000
非稼働所得	.9573824	-3.979	0.000
予定子ども数	1.351997	8.256	0.000
ゆとりのある教育の実現	1.009553	0.150	0.880

表 36 男性の結婚確率関数の推定結果(14)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.915084	3.248	0.001
自営業ダミー	1.097134	1.157	0.247
稼働所得	1.128175	3.888	0.000
非稼働所得	.9573736	-3.979	0.000
予定子ども数	1.352439	8.283	0.000
住宅費用の支援	1.00444	0.069	0.945

表 37 男性の結婚確率関数の推定結果(15)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.881014	3.210	0.001
自営業ダミー	1.101107	1.204	0.229
稼働所得	1.125764	3.813	0.000
非稼働所得	.9571299	-4.001	0.000
予定子ども数	1.347637	8.135	0.000
子育て環境の整備	1.058707	0.889	0.374

表 38 男性の結婚確率関数の推定結果(16)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.906317	3.239	0.001
自営業ダミー	1.099772	1.184	0.237
稼働所得	1.127601	3.876	0.000
非稼働所得	.9573436	-3.982	0.000
予定子ども数	1.351567	8.259	0.000
放課後児童クラブ (学童保育) の整備	1.020409	0.323	0.747

表 39 男性の結婚確率関数の推定結果(17)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.924815	3.260	0.001
自営業ダミー	1.094223	1.117	0.264
稼働所得	1.128557	3.916	0.000
非稼働所得	.9574234	-3.974	0.000
予定子ども数	1.353781	8.272	0.000
出産退職等の雇用慣行の見直し	.9869418	-0.209	0.834

表 40 男性の結婚確率関数の推定結果(18)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.960913	3.297	0.001
自営業ダミー	1.084148	1.000	0.317
稼働所得	1.130377	3.969	0.000
非稼働所得	.9577709	-3.938	0.000
予定子ども数	1.356828	8.350	0.000
就業時間の短縮 (男女共)	.9422232	-0.945	0.345

表 41 男性の結婚確率関数の推定結果(19)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.949081	3.285	0.001
自営業ダミー	1.08646	1.027	0.305
稼働所得	1.130188	3.957	0.000
非稼働所得	.95772	-3.942	0.000
予定子ども数	1.356455	8.339	0.000
子育てを社会的・経済的に評価する社会	.95099	-0.799	0.424

表 42 男性の結婚確率関数の推定結果(20)

	Hazard Ratio	t 値	確率値
就業ダミー	2.965549	3.306	0.001
自営業ダミー	1.082568	0.991	0.322
稼働所得	1.127717	3.939	0.000
非稼働所得	.9572663	-3.989	0.000
予定子ども数	1.367501	8.498	0.000
非嫡出子に対する扱いの見直し	.8180562	-2.827	0.005

表 43 記述統計量

	平均値	標準偏差	最小値	最大値
現在の子ども数	1.631479	.9831446	0	5
予定子ども数	2.177623	.7397146	0	5
結婚後年数	8.029393	4.907898	0	22.08333
年齢	33.12337	4.533908	18.66667	40.08333

サンプル数は、1582。

表 44 出生児関数

	推定値	標準偏差	t 値	確率値
予定子ども数	1.346263	.0515484	26.116	0.000
結婚後年数	.5628682	.0289868	19.418	0.000
結婚後年数自乗	-.0197192	.0014482	-13.616	0.000
年齢	.0494363	.101381	0.488	0.626
年齢自乗	-.000788	.0015902	-0.496	0.620
$\mu 1$	4.332841	1.58057		
$\mu 2$	6.103568	1.582221		
$\mu 3$	8.335631	1.58795		
$\mu 4$	10.34518	1.596811		
$\mu 5$	11.70167	1.615929		

Log Likelihood = -1284.4787

図1 育児休業期間中の賃金の保障の充実と出生児数

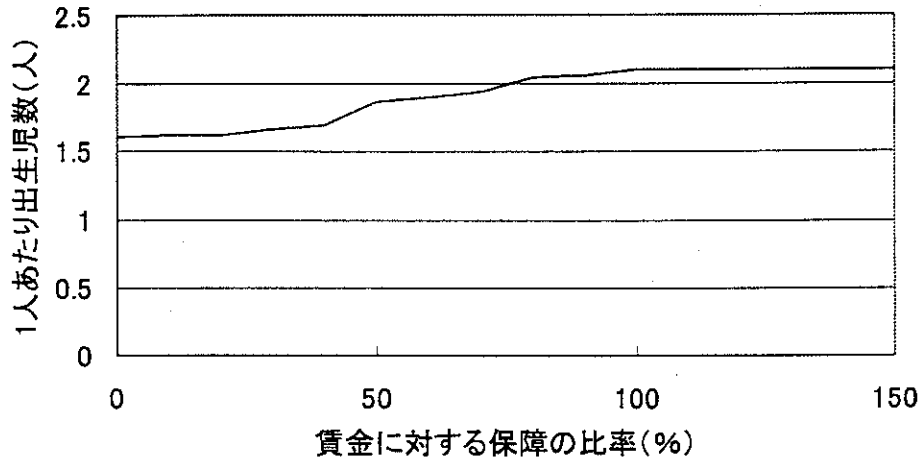


図2 育児期間中の賃金の保障の充実と出生児数の増加

